

第 101 回薬剤師国家試験過去問題集(演習型解説書)訂正表 (第 2 刷)

2018 年 6 月 29 日現在

誠に申し訳ございませんが、以下の箇所の訂正をお願い申し上げます。

◇必須問題◇

ページ	問番号	箇所	訂正前	訂正後
84	Exercise	解答番号③ 選択肢	患者氏名・患者の年齢・調剤年月日・薬局の管理者の氏名～	患者氏名・調剤年月日・薬局の管理者の氏名 ・効能、効果・用法、用量 (患者の年齢を削除)

◇理論問題◇

ページ	問番号	箇所	訂正前	訂正後
153	問 112	解説 3 番 1 行目	エストロラジオール	エストラジオール
201	問 135	冒頭 解説文 2 行目	強い特定フロン <sup>①</sup> 「クロロフルオロカーボン (CFC)」、 代替フロンのうちオゾン層破壊作用がある <sup>②</sup> 「ハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC)」	強い <sup>①</sup> 「クロロフルオロカーボン (CFC)」やオゾン層破壊作用の弱い <sup>②</sup> 「ハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC)」
		冒頭 解説文 6 行目	着実に進めており、特定フロン	着実に進めており、クロロフルオロカーボン
		冒頭 解説文 8 行目	また、代替フロンの中でもオゾン層破壊作用がある HCFC については	また、特定フロン <sup>①</sup> の HCFC については
202	関連問題	問題 2	代替フロンであるハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC) は	特定フロン <sup>①</sup> であるハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC) は
		問題 5 解説 c	代替フロンであるハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC) は、塩素原子を有するため、特定フロンに比べ弱いながらもオゾン層を破壊する。	特定フロン <sup>①</sup> であるハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC) は、塩素原子を有するため、クロロフルオロカーボン <sup>②</sup> に比べ弱いながらもオゾン層を破壊する。

203	関連問題	問題 6 解説 3 行目	代替フロン <sup>①</sup> のウ(CHF <sub>2</sub> Cl)となる。	特定フロン <sup>②</sup> のウ(CHF <sub>2</sub> Cl)となる。
		問題 7 解答	a・c	解なし
		問題 7 解説 a	○	×
		問題 7 解説 a 2 行目	そのうち Cl を含み、H を含まないものを特定フロン <sup>②</sup> といい、H を含むものを代替フロン <sup>①</sup> という。	さらに、先進国で 2020 年をもって生産・消費が全廃されることとなっているハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)は、特定フロン <sup>②</sup> へと移行した。特定フロン <sup>②</sup> には、H を含まないクロロフルオロカーボン(CFC)やHを含むハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)がある。
		問題 7 解説 c	○	×
問題 7 解説 c	1995 年をもって特定フロン <sup>②</sup> は全廃され、開発途上国でも 2010 年をもって全廃された。	1995 年をもってクロロフルオロカーボン(CFC)は全廃され、開発途上国でも 2010 年をもって全廃された。しかし、ハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)は、先進国で 2020 年をもって生産・消費が全廃されることとなっている。		